

# 品川支部

平成30年11月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
TEL 3442-7075

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 荻外荘移転作業の開始 解体前に内部公開されました

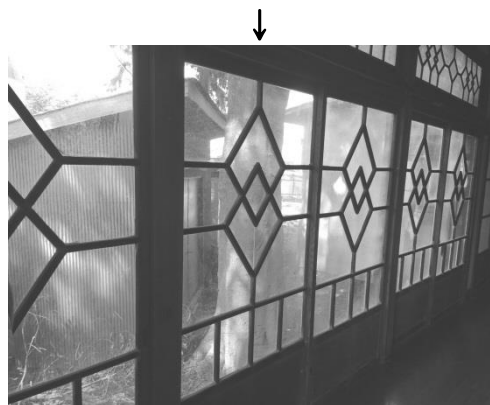
\*激動の昭和史の歴史的現場が杉並に帰る時です



← 玄関から入ると  
居間になります ↓



庭に面した廊下にはしゃれたガラス戸



↑ 居間は竜の絵の格天井

### ☆支部行事のお知らせ

・支部幹事会

十一月九日(金)午後六時〜都南にて

・教区ひのきしん

鶴平組です、五日にお願いいたします

・神名流し

一日、午前十時から大井町西口ロータリー

・在宅センターひのきしん

十一月二十八日(水)午前九時半〜

・支部例会

十一月三十日は豊英分教会での例会です  
八年前に新しい感覚で建て直された教会  
ですので、一度見学がてら、どなたでも  
参加頂ければとお待ちしております

### ☆教務支庁からのお知らせ

・教区女子青年委員長交代

今までおつとめ頂きました鴻野さんから  
片山春絵さんに新規交代となりました

・青年会、献血ひのきしん

九月一日から十一月三十日までの三ヶ月

### JTBおちば帰り団参券

JTBでは、おちば帰りの団参券の取り扱い窓口が変わりました

近くの取扱店

丸の内	0570-200-458
赤坂	0570-200-879
有楽町	0570-200-581
蒲田	0570-200-902
上野	0570-200-865
浅草	0570-200-586
新宿西口	0570-200-851
高田の馬場	0570-200-381
池袋	0570-200-494

外には教務支庁に出向して販売が主に毎月4日に行われています

### 社友会より

東京教区内での「天理時報」購読部数は六千部程度で、購読者数の増加をお願いしています。  
尚、全国で手配りでの配送を行っているのですが、東京教区では約六十五%が手配りされています。因みに品川支部は、会社等を除けば、ほぼ100%で、全体でも九十五%程度と、手配りして頂いている方のお陰で高い数字を達成しています。  
又今月は、「すきっと」の32巻の発売もありますので宜しくお願致します。

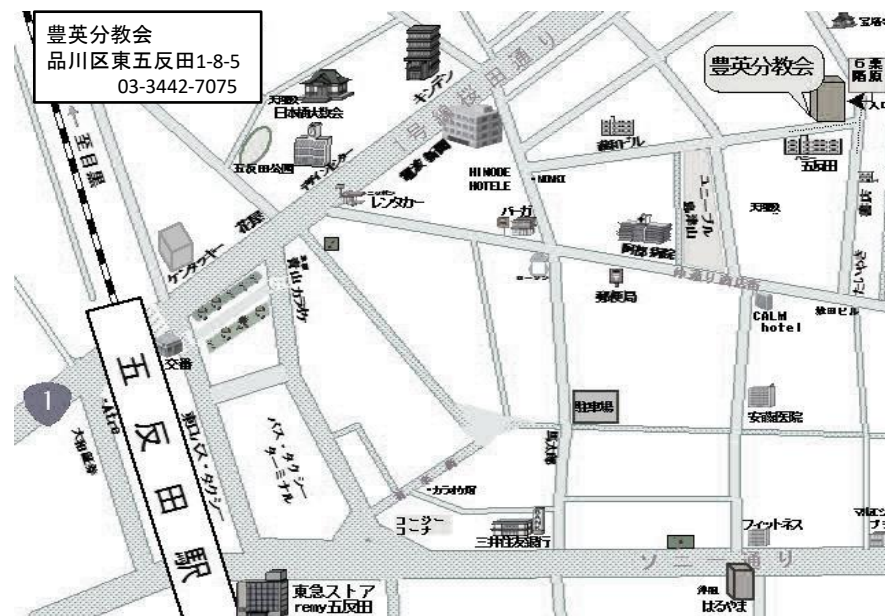
拠点教会	4日号	11日号	18日号	25日号
日本橋	手配り	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	手配り	手配り
南 泰	手配り	手配り	手配り	直 送
三ツ木	手配り	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

# 品川支部例会

## 平成30年11月30日 (金) 11時開始

### 場所 豊英分教会

座りづとめ よろづよ八首 十一下目  
東京教区、支部連絡事項  
当該栗原教会長挨拶  
昼食の用意頂いてます  
\*各教会の方のほかどなたでも  
(白足袋ハッピー着用)



リーフレット1枚からでも

水豊田分教会長



こんにちは。私は現在品川支部の布教部という御用をつとめさせて頂いております。

皆さんは「にをいがけ実動」と聞くような事を想像されるでしょうか。住宅街での戸別訪問や神名流し、繁華街での路傍講演やリーフレットの手渡しなど色々ありますが、どれも勇気がいる実動だと思います。「私には無理・無理」という方も多と思います。

この他にリーフレットをポストに投函するポストイングというのをいがけもあります。ある先生からポストイングは野球で言うバットボックスに入ってもバットを振らないようなものだ。そんな事ではにをいなんて掛かるはずがない。しっかり戸別訪問するように！と指導頂いたことがあります。

確かにリーフレットをポストに投函するよりも、戸別訪問や笑顔で直接リーフレットを渡した方が効果的だと思います。しかし、この勇気のいるにをいがけ実動は、勇気がいるだけに何か出来ない理由を考えては敬遠しがちではないでしょうか(実は私も...)

私の住んでいる東京教区では毎月十萬部のオリジナルリーフレットを作成し、支部を通じてにをいがけ実動に使って頂いています。また、東京では天理教基礎講座東京会場を毎月開催しています。私も十年前から受け入れスタッフとしてひのきしんさせて頂いておりますが、先月も「ポストにこのリーフレットが入っていたので話を聞きに来ました」と言って基礎講座を受講された若い方がおられました。実はこのリーフレットの本文とは別に裏側の最後の六行ほどのスペースで基礎講座の紹介文をしています。その六行の紹介文を見て多いときは毎月1人から2人の受講者がやってきます。

確率でいうと10万分の1という低い確率ですが、それでもその紙切れ1枚で身上や事情で悩んでいる現状から「たすかる道」へ切り替わることが出来ることもあります。

私のにをいがけの師からは「出る・歩く・声をかける」これがにをいがけに歩く上での順番であるとよくお仕込み頂きました。一見当たり前の様な話ですが、家から出ないことには何も始まりません。色々考えるよりも

まずは家から出ること、そして歩くことが大切であると教えて下さったのだと思います。先ほどのバットボックスの話ですが、打席にさへ立てば、バットを振らなくてもデッドボールやパスボールなどで試合に貢献出来ることもあります。仕事や家事など日々忙しい事と思いますが、少しの時間でも「出る・歩く」を最初の目標にリーフレットを持って歩かせて頂きましょう。

そしてちょっと勇気のある日は笑顔で「宜しければ読んで下さい」と声をかけてみましょう。品川支部では毎月一日午前十時から大井町駅の西口ロータリーで神名流しを行っています。休日など時間があまる時は参加頂ければ幸いです。(一月と八月はお休みになります)

石田寛之

